

理事通信

No. 1

発行：ワイズメンズクラブ国際協会東日本区 東京都新宿区四谷本塩町 2-11 URL: <https://ys-east.or.jp/>



理事メッセージ

2024-2025 年度 東日本区理事 山田 公平

東日本区大会について

5月31日から北海道の帯広で行われた第27回東日本区大会では319人が参加して有意義な一日となりました。前日のゴルフ大会から始まり、前夜祭が行われ、予想を超える参加者で会場を2か所に分けて行われました。翌6月1日の区大会は、12時半に始まり、夕方5時半過ぎまで5時間の中で行われた大会でした。何よりも、東日本区アワーを二つに分け、その間に南極観測隊で料理人を務めた西村淳さんのプレゼンテーションが行われました。「食べることは生きること」という題で、面白い体験談、南極の厳しさと自然のすばらしさを感じることができた話でした。その講演と前後の休憩タイムを入れると約2時間。残りの3時間で、開会式、バナーセレモニー、1年間の報告、ユースやYMCAからの報告、事業委員会報告と表彰、理事就任式と役員引継ぎ、そして閉会式。すべてが通常の半分近くには短縮されて行われた大会でした。

一方、閉会後の晩餐会は工夫された料理とエンターテインメントで一杯でした。豪華なホテルの料理に加え、新鮮なアスパラ、北海道で有名なインディアンカレー、豚丼、など様々な種類の料理が盛りだくさん出され、ホテル側がこんなに食べるもの多くても予想以上の食欲に驚いていたというほど「ご馳走さま」となりました。晩さん会最後の閉めは、地元の子どもたち50名が元気よくよさこい音頭で会場を一つにしてくれました。ホスト役の十勝ワイズの工夫と頑張りに感謝します。

INDEX

・理事メッセージ（東日本区大会について）……………1	・チーム・イノベーション、その他のお知らせ……………4
・2024-2025年度へ目標……………2	・今期国際会長の交代について……………4
・2024-2025年度への願い……………3	・新年度の事業主任と活動内容の紹介……………5
・今後の法人運営、株主総会のスタート……………3	・今後の予定、献金者一覧……………6

理事メッセージ

2024-2025 年度への目標

理事主題:

ワイズの方向を見極める

スローガン:

ユースエンパワメントを YMCA と共に

1. ユースアクションは今年の5月から第2弾がスタートして、ワイズ年度をまたいで2025年1月に終了する。今回のユースアクションは、東日本区内で7か所(札幌、盛岡、長野、山梨、中央大学 YMCA、川越、東京)で行われている。前回の反省もあり、アクショングループの様子をもっとワイズ運動と響きあえるようにワイズ側にタスクチームを置いて、関係を築いていく。
2. 第36回ユースボランティア・リーダーズフォーラム(略称 YVLF)は、9月6-8日に東京 YMCA 山中湖センターにて約40人規模で行われる。今年は、熊本 YMCA で不登校児童を対象とした活動を展開したユースリーダーたちの取り組みを学び、ユースボランティアにはもっと社会的課題に向き合うきっかけを作れないかという願いを重ね、内容を検討している。



東日本区大会の様子 (ホテル日航ノースランドにて)

3. ユースアクションは、2021年度に1回目、2023年度に2回目、そして2025年度に3回目を行うつもりである。どれも年度をまたいで行われているので支出(プロジェクトへの支援金)は2年に1回となる。これをさらに拡充するためにも独自の寄付金や助成金を得る仕組みを考えたい。
4. 東日本区ワイズメンズクラブは、国際協会のもとに存在している。世界60数か国に存在するこの団体の国際性をもっと活かしていく工夫が必要だと考える。ユースの派遣研修(AYCやIYC)、2025年には熊本でアジア太平洋地域大会が行われるので、このイベントに多くの人たちを送り出したい。ユース世代を中心にワークキャンプやiGoと呼ばれる短期研修制度などを促進するきっかけとしていきたい。
5. ワイズメンズクラブは東日本区の各地に50数クラブ存在する。その一つ一つのクラブが各地域におけるCS(コミュニティーサービス)事業を積極的に取り組み、各地域で人々を巻き込めるようにしていきたい。W4Wと呼ばれる地域美化活動もより多くのクラブが参加していけるようにしたい(2024年4月19日クラブが実施)。
6. 東日本区には7つの部がある。部の役割は、クラブライフの充実を目指し、クラブ間の交流を促進してもらいたい。そのための会長会議やクラブ間の合同例会やイベントを奨励していきたい。
7. 東日本区 チーム・イノベーションが2023-24年度に、5年後のワイズの在り方を検討し、答申を出している。これらのビジョンを区、部、クラブでよく検討し、各年度にできることを選び実行していきけるように働きかけていきたい。



第1回ユースアクションの様子

2024-2025年度への願い

ユースエンパワメントを

推進するためには

今年度2年目となる理事キャビネットの中で主要なワイズ役員のほとんどは今年度も継続しています。1年目に感じたことを活かして、2年目にワイズ運動をもっと効果的に推進していきたいと願っています。その中でも、ワイズはYMCAと組んで、ユースの未来の人生に意欲と希望と、自信をもって生きるようになってもらいたいと願っています。失敗してでも立ち上がる、やりたいことを見つけて、チャレンジする人生の方が、Well-Beingと言える生き方という考えを推し進めるワイズ運動でありたいと考えています。

これまでは毎年秋に「ユースボランティア・リーダーズフォーラム」(略称YVLF)と言う2泊3日のイベントを行ってきました。今年秋にはその36回目を迎えます。東日本区独自の活動で、YMCAの若手ボランティアリーダーを対象としたトレーニングをしてきました。今年は、このYVLFの内容をキャンプリダーではなく、社会的な課題に目を向け、社会的活動にかかわるきっかけを作ろうと計画しています。講師は、熊本YMCAの若手スタッフで、昨年からユースアクションとしてリーダー数名で週1回の不登校児の居場所を提供してきました。最初は数名の子どもと7人の大学生リーダーたちが一緒に夕飯を作り、ゲームなどを一緒にしてきました。毎月1回はデイキャンプで外出する機会を作り、長期の休みの時には宿泊を伴うキャンプも実施しました。徐々に子どもの参加は増えていき、1年が終わったら10数名に拡大していきました。何よりもリーダーが3倍近い人数になりました。今年はその2年目でさらに活動は広がってきています。

こんな活動こそがユースエンパワメントにつながる運動だと信じています。ユースアクションというYMCAとワイズ東西日本区が協働で始めた活動で、ユースエンパワメントを実践している活動になっていると確信しています。社会の中で、若い人たちが立ち上がる運動をするのがYMCAとワイズメンズクラブの願いであり、それこそがユースエンパワメントの実現への道ではないかと考えています。



東日本区大会にてユースアクションの発表の様子

今後の法人運営

5年前2019-20年度の時に、それまでの任意団体から社会の中で認められる形となるべく法人格を取得して、社会的に認められる組織となることを目指したところから始まりました。元々、東日本区を構成するものは任意団体の性格を持つ各クラブとその会員であり、その性格も持ちながら数年が過ぎていきました。一般社団法人という法人格を持ったことによって「何が変わったのか」という声も上がっていました。一般社団法人の持つ利点を今後のワイズ運動推進のために検討していこうという発想で、法人推進委員会ができました。この1年間も毎月1回、一般社団法人としてのメリットを活かす方法を考えてきました。助成団体からワイズが行う公益活動への助成を得られるようにするための方策を考えようとしてきました。

今日でも、ワイズメンズクラブは、法人格を取得したメリットは感じられ

ていないことが事実です。それでも、これからの社会で必要とされる組織としてのワイズ運動は、寄付や助成金を集めることができるような団体になっていくのか、問われています。今は見えない5年10年後の社会では、その方向性が問われているのではないのでしょうか？ワイズは、任意団体であり続けたいと考えているのでしょうか、それとも一歩でも二歩でも社会的な課題に目を注ぎ、それに対して効果的に働きかけるために、もっと社会から信頼され、認められる団体となっていく道を選ぶのでしょうか。そこが問われているのではないかと思います。



サポートファンドのスタート

今年度の予算にはサポートファンドという新しい項目が出ています。収入予算は120万円です。サポートファンドのねらいは、ここ数年、赤字体質が続く東日本区が、この体質を変えていく節目の年にしたいと考えて入れたものです。過去5年間、赤字体質は続いていました。繰越金が少なくなった今、このままだと後がなくなります。区費値上げも考えましたが、今年度は、一口1万円で、多くの会員、あるいはクラブ単位でサポートをしていただけたら助かりま

す。同時に、この年度初期段階で来年度の予算をさらに厳しく考えます。一つの問題は会員減少です。会員はこの1年間で新入会員は50人近くいますが、退会される会員がそれ以上出ています。さらに、2023-24年度にも4つのクラブが解散しました。事情は様々ですが、メンバーの高齢化、限られたリーダーシップへの負担が原因となっているように思います。先が見えないクラブの実情が出てきています。会員数の減少だけでなく、国際協会へ送金する為替が支出を大きくしています。一人35フランを送金すると1フラン120円の時代と今日の1フラン175円の時代では、百数十万円の支出増となります。会員の減少と円安という状況を乗り切るためには、会員増強のための工夫とこれまでの支出の徹底的見直しが必要になっています。まずは支出削減と会員維持を目指すことを考えます。そのためにも、皆様からのサポートファンドへの参加を通してお願いします。個人でも、クラブとしてでも、よろしくをお願いします。後日、案内をお配りします。

チーム・イノベーション 「5年後ワイズへのビジョン」 への意見聴取

昨年度中にチームイノベーションという将来のビジョンを語る会が10数回にわたり行われました。その答申が出されてきます。若い会員を中心に、ワイズの5年後はどんな姿になることが望ましいかなどを自由に語り、合意をできた項目を次々と提案されています。それらを項目ごとに整理し、5つの項目で5年後のビジョンが出されてきます。それをワイズのメンバーが読んでもらい、優先順位をつけ、さらに可能ならクラブ会合の折にクラブとして、何を優先させるか、皆さんの意見を集約してみようと思います。

東日本区 チーム・イノベーション 答申	
2024年6月	
目次	
1. はじめに	1
2. チーム委員の経緯	1
3. チームの構成	1
4. 活動経緯	2
5. 検討の視点	2
6. 緊急提案	3
7. 将来像とその実現に向けて	3
【YMCAとの関係】	4
【ワイズメン/ワイズへの姿】	5
【組織】	6
【活動/事業】	8
【ユース】	10
【会員増強】	11
8. おわりに	13
別紙1 戦略2032	14
別紙2 中間報告(緊急提案部分)	23
別紙3 クラブの設立と解散の状況	28

その他のお知らせ

ワイズメンズクラブ国際協会について、ワイズの国際協会が本部を置くスイスで、公益法人の在り方を改正する動きがあり、ワイズメンズクラブ国際協会の国際憲法の見直しが行われ、その最終案を世界中のクラブに対して投票が行われました。国際憲法では投票したクラブの内98.9%のクラブが賛成の票を投じたそうです。よってここに新たな国際憲法が賛成多数で認められました。投票結果をご報告します。全投票クラブは356クラブでした。その内、347クラブ(98.9%)が変更案に賛成しました。なお、全体の投票率は46.84%で、東日本区は96.4%でした。今後は、改定憲法に対応した細則(これまでガイドラインと呼ばれていたもの)が国際議会で検討、制定されていきます。なお、新しく改定された国際憲法は9月発行予定のハンドブックに掲載される予定です。



今期国際会長の交代について

新国際会長であったチャーミング・シェン(台湾区)が病気のため、任務を遂行できないことになり、A・シャナヴァスカーン(インド区)が、7月4日付で新たな国際会長に就任しました。直前会長はウルリック氏となります。

そのため、次期(2025-26年度)国際会長選挙を今後準備することになります。

日本のワイズのみなさまとも親しいチャーミングさんの早い回復をお祈りしております。

新国際会長名、主題、スローガンは次の通りです。

国際会長名
A. Shanavaskhan (A・シャナヴァスカーン)
主題: "Together for a Better World"
「より良い世界のために、共に」
スローガン: "Arise and Shine"
「立ち上がろう、そして輝こう」



新年度の事業主任と活動内容の紹介

地域奉仕・YMCA サービス事業主任

廣田 光司（千葉）

自己紹介

地域奉仕・YMCA サービス事業主任を務めます廣田光司です。千葉クラブに所属しています。1975年～2022年までYMCA職員でした。

事業方針

「well-being」の実現に向けて部を通して各クラブの活動を支援し発展させることを目指します。

活動内容

- ① 地域奉仕活動の良い事例を各クラブに紹介・表彰することで各クラブのクラブライフの充実の手助けをすると共に一般社会に対して広報をする。
- ② プロボノリストの活用と更新を継続する。
- ③ 環境問題への関心を高め、メンバーに地球に優しい生活を奨励していく。

会員増強事業主任

進藤 重光（東京）

自己紹介

前年度に引き続き、会員増強業主任を務めさせていただき進藤重光です。東京クラブに所属しており、2024-25年度のクラブ会長を務めます。

事業方針

新クラブを設立すること（E）、新会員増強（M）及び、維持保全（C）のモチベーションを高めることに傾注し、ワイズダムを拡大強化するために資する事業を行います。

活動内容

- ① 他の事業主任と連携し、日本やアジア地域の中でのワイズのユニークな取り組みを把握。新クラブ創設やクラブライフの充実のための情報を共有する。
- ② SNSやメーリングリストを活用し、インタラクティブな外部への情報発信を行う。
- ③ YMCAやユースへの支援をはじめとするワイズ活動を友人知人に明確に示し、私たちのミッションや奉仕全般を分かりやすく紹介できるコンテンツ開発に取り組む。

国際・交流事業主任

山本 剛史郎（川越）

自己紹介

国際・交流事業主任を務めます山本剛史郎です。川越ワイズメンズクラブのチャーターメンバーで、ワイズ歴は今年で26年になります。

事業方針

国際・交流事業の方針は「ワークキャンプを実現する」です。この1点だけに集中して取り組んでいきたいと思っています。先日、『幸せなら手をたたこう』の作者である木村利人氏の講演を聞きました。木村氏は1959年、フィリピン・パンガシナン州ダグパン市でのワークキャンプに参加し、そこでの体験をもとに『幸せなら手をたたこう』が生まれました。私自身も1994年に埼玉YMCAのフィリピン・ワークキャンプに参加し、それがきっかけにYMCA、ワイズメンズクラブにつながるようになりました。このワークキャンプを通してワイズメンズクラブの認知度が高まり、奉仕団体としての存在意義が再確認できるきっかけになれば良いと思っています。

ユース事業主任

三田 庸平（もりおか）

自己紹介

ユース事業主任を務めます、もりおかワイズメンズクラブ三田庸平です。私はユースとのパイプ役を大事に、ユースの皆さんの応援そして協力を出来る年度を目指しています。

事業主題

「change challenge chance communication」この主題にはこれからのユース活動には4Cが大事だと感じました。4C 大切さを感じ取りながら取り組んでいきたいと思っています。

活動内容

- ① ユースアクション
- ② YVLF
- ③ IYC/AYC 準備
- ④ ユースクラブ設立支援
- ⑤ ワイズでの就職サポート(iGo)支援

活動での役割を大事に協力していきたいと思っています。その為、それぞれの活動毎にタスクチームを組み行っていきたいと思っています。

今後の予定

- 7/10 前期半年報提出(部長及び区事務所)
- 7/13 第一回役員会 (Zoom)
- 8/15 前期区費納期
- 8/24 臨時代議員会 (文書又は電子媒体の予定)
- 8/31 北海道部部大会
- 9/6-8 ユースボランティア・リーダーズフォーラム
(山中湖センター)

2024-2025年度 東日本区行事予定								
年	月	区振興月間	東日本区行事・報告・送金	各部・西日本区等	国際・YMCA			
2024	6	1	土 代議員会(十勝)	8	西日本区大会(名古屋)	15-16	第1回日本YMCA同盟協議会	
		1	土 第2回東日本区大会(十勝)					
	7	キックオフ	13	土 第1回東日本区役員会(Zoom)				
		PR	10	水 各クラブ前期半年報部長宛提出				
			13	月 各クラブ前期半年報 (部長⇒会員増強事業主任)				
	8		31	水 前期区費納付書発送				
		戦略2032	15	水 前期区費納期			10	国際半年報
			24	土 臨時代議員会(WEB)			8-11	国際大会(タイ:チェンマイ)
	9	EMC	6-8	※ ユースボランティア・リーダーズフォーラム(山中)	31	北海道部部大会		
					28	北東部部大会		国際会長陣営者推薦
	10	ASF			5	東新部部大会(東陽町)		
					12	富士山部部大会		
				19	関東東部部大会(川越)			
				19	あずさ部部大会		国際議員陣営者議決の切り	
				26	関東・神奈川部部大会(つくば)	23-28	IYC(ドバイ)	
11	BF	9	土 第2回東日本区役員会(Zoom)			15-17	YMCA大会(東山荘)	
	iGo・STEP	10	日 ワイズデー					
12	キリスト教理解	7	土 部長・事業主任研修会(現・次期)(Zoom)					
	IBC	8	日 折込の輪				国際役員投票	
1	EF	10	金 各クラブ後期半年報部長宛提出 (クラブ会長⇒部長)					
	JEF	15	水 同上(部長⇒会員増強事業主任)					
		31	金 後期区費納付書発送					
		31	金 次期部役員・クラブ会長報告 (次期部長⇒区)			15	国際役員投票 締め切り	
2	IOF	15	土 後期区費納期			10	国際半年報	
	FF	15	土 各種献金納期(クラブ⇒部)				国際協会年次会議	
	HTW	28	金 各種献金納期(部⇒区)					
3	CS・Green P.	8-9	土 次期クラブ会長・部役員研修会(東山荘)					
	ワイズメット	-15	土 代議員会告示					
4	Week4Waste	5	土 代議員会議案採決		東西理事委員会議 (西日本区担当)			
	RBM	12-13	土 第3回東日本区役員会(対面開催) (現・次期合同、中間決算)					
5	LT	-10	土 代議員会議案送付					
	ユース		JEFエントリー締切					
		24	土 第4回東日本区役員会(Zoom)					
6	YMCAサポート	7	土 代議員会(宇都宮)	14-15	西日本区大会(神戸)		第1回日本YMCA同盟協議会	
	評価	7	土 第2回東日本区大会(宇都宮)					
	次年度計画							

JEF 献金

2024年6月

献金日	献金者	クラブ		金額
6月27日	板村哲也	東京武蔵野多摩	東日本区発展のため	30,000